

ウェビナー「日本研究のための情報源活用法」(令和6年度)に係る
講師への質問及び講師からの回答

- 講義:日本政治、日本政治史研究の道案内—海外からどう進めるか—
- 講師:清水 唯一朗氏(慶應義塾大学総合政策学部教授)

(質問1)

While the lecturer was looking at institution led materials, are there sources for anti-government and non-mainstream groups?

(回答)

ご質問ありがとうございます。国立国会図書館の憲政資料室には、政党、団体、個人の資料でそうした立場の方々のもも多く残っています。参考にされてみてください。

文書群一覧(50音順) | 憲政資料(憲政資料室)

<https://ndlsearch.ndl.go.jp/rnavi/kensei/titlelist>

(質問2)

Can you add how to find sources that are visual like films, photographs, and scanned diaries? Can you include more sources about women and about the arts in your presentation?

(回答)

ご質問ありがとうございます。映画、写真、女性については、それぞれ専門の資料館がありますので下記に代表的なものをご紹介します。スキャンされた日記は、ご紹介した「国立国会図書館デジタルコレクション」でもある程度見ることができます。

映画:国立映画アーカイブ <https://www.nfaj.go.jp/>

写真1:日本カメラ博物館 <https://www.jcii-cameramuseum.jp/>

写真2:東京都写真美術館 <https://topmuseum.jp/>

女性:女性と政治センター <https://www.ichikawa-fusae.or.jp/facilities/>